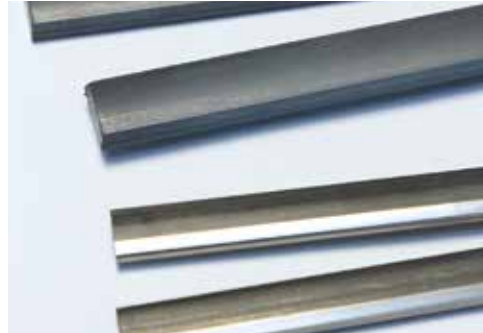


連続ロール圧延加工技術確立による 高級腕時計用材料の製造工程短縮の実現



1 高級腕時計のバンドに、同社製のチタン異型線が使用されている。2 連続ロール圧延加工により、従来の生産方式に比べ、リードタイム短縮とともに光沢性の高い異型線(写真下)の製造を実現した。3 連続ロール圧延による加工シーン。4 現在、同社が製造する高級バンド用異型線の半数は、新生産方式に移行している。

独自の「チタン^{そせい}塑性加工技術」を高め、競争力の確保を。

ヤマウチマテックス・エンジニアリングは、「チタン塑性加工技術」をコア技術に、国内眼鏡市場において、リム、丁番などに使用される異型線で高いシェアを誇る。10年ほど前から、眼鏡材料の開発製造ノウハウを生かし、高級腕時計市場に進出。国内のバンドメーカーを中心に、バンドの付加価値を高めるチタンによる異型線を提供してきた。

腕時計市場は、さまざまな部品供給のサプライチェーンが確立されており、短納期が求められる。また、これま

で高級腕時計のバンドは加工しやすいステンレスが一般的であり、チタンは強度、軽さ、耐食性、さらに金属アレルギーを起こしにくいという優れた特性を持つものの、その高強度ゆえに加工は多くの工程数が必要であった。

今回の事業では、従来の生産方式とはまったく異なる「連続ロール圧延加工」の生産技術を確立。光沢性・審美性の高いチタン異型線の製造を実現しながら、熱処理工程を削減するなど大幅なリードタイムの短縮が可能になった。

注目すべき成果

リードタイムが、
約3割削減。

原材料である純チタンは高強度であり、ゆっくり時間をかけて圧延する必要がある。従来は熱処理などの多くの工程数が必要であったが、連続ロールにより圧延することで、工程数削減を実現した。

注目すべき成果

顧客が求める、光沢性・
審美性の大幅な向上。

従来の生産方式のチタン異型線は、顧客先で光沢処理が必要であった。連続ロール圧延加工により、光沢性が高いチタン異型線を顧客に供給できるようになり、顧客先での光沢処理は不要となった。

今後の展望

国内時計メーカーの
ブランド向上に寄与。

ステンレス製バンドを使用しているスイスをはじめとする海外メーカーに対抗する、付加価値性の高いチタン製バンド材料である異型線を提供。国内高級腕時計メーカーのブランド力向上に寄与していく。

ものづくり
専門員から
一言

福井生まれの
チタン製バンドで、
グローバル市場も。

同社は眼鏡材料のチタン加工で30年以上の実績を持ち、顧客が求める高い精度に添えてきた。その付加価値を加速させる技術が、今回の連続ロール圧延加工である。国内腕時計メーカーが高級化に注力するなか、チタン製バンド材料は今後のグローバル展開も期待できる。

こんな
会社です!

「つukれない異型線はない」。
そんな開発メーカーを目指す。

チタンは、銅、鉄、アルミニウムに続く第4の金属といわれ、軽さ、強度、耐食性、生体安全性を生かしながら、素材・用途開発が飛躍的に進んでいます。その中、弊社は、福井をはじめ中国にも拠点を持ち、眼鏡業界をはじめ、医療、建材、ねじ、アクセサリなど多様な市場にチタン材料を供給しています。今後は自動車、航空宇宙産業などへの進出も視野に、産業界から「つukれない異型線はない」といわしめる開発メーカーを目指していきたいと考えています。



同社は国内眼鏡市場において、リム、丁番などに使われるチタン製異型線で高いシェアを誇る。眼鏡分野では中国やイタリアにも進出している。



本社・工場

ヤマウチマテックス・ エンジニアリング株式会社

代表者：代表取締役 山内隆嗣
設立：平成22年8月(創業 平成8年8月)
資本金：2,500万円(グループ合計)
従業員数：52人(グループ合計)
事業内容：チタンなど非鉄金属・貴金属の丸線・異型線の製造販売、眼鏡用金属材料の加工販売
〒918-8231 福井市問屋町2-22
☎ 0776-25-5600 FAX 0776-25-2528
URL www.matex.co.jp/
E-mail info@matex.co.jp



代表取締役
山内隆嗣さん